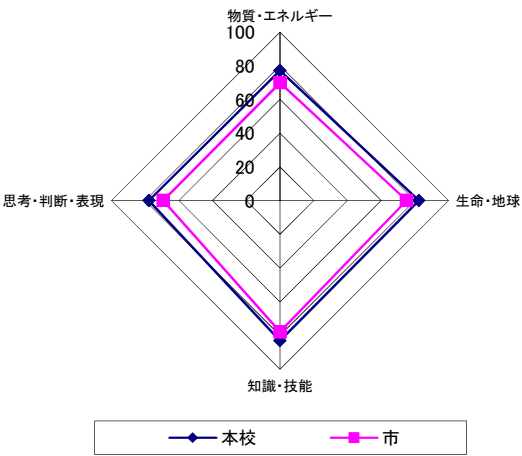


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	77.1	69.9	67.8
	生命・地球	82.4	75.1	73.7
観点別	知識・技能	83.1	77.8	78.4
	思考・判断・表現	77.8	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均より7.2ポイント高い。 ○すべての設問で市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●「物のとけ方」の溶け残った食塩を全て溶かす方法を問う設問では、市の平均正答率を上回っているが、正答率が5割であり課題と言える。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・観察や実験の際に、学習内容を身の回りの事象と結び付けながら、仮説を立て、仮説を確かめられる実験方法を考える。仮説から考察までの一連の流れを丁寧に行うことで、目的意識をもって実験に取り組むことができるようにする。
生命・地球	平均正答率は、市平均より7.3ポイント上回っている。 ○どの設問も市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●「生物と環境」の設問について、実際に行われている事例から、食物連鎖を説明する設問では、正答率は68.3%で市の平均を上回っているが、無回答率が9.6%と他の設問と比べて高かった。	・設問を読んで、自分の知っている言葉を使って表現する機会を多く設けることで、自信をもって記述することができるようにしていく。 ・授業等で得た理科の知識が身の回りの事象で活用されているということを意識して生活することができるように、声掛けや課題の出し方を工夫していく。